とかち新聞
主筆　松山明
（発行所）北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話⑤2551番
（毎旬5の日発行）　1カ月200円　1カ年前納の場合2,000円

本別町長選

現職優勢に新人の進撃

五月六日の告示、本番に迫っている本別町長選挙は実質的には昨年暮いらいの長丁場の事前運動によって各派ともそれぞれ票読みはおわった形で、本番に入っての七日間は形式的な選挙戦で、票固めの再確認にとめるだけとみられています。

五ヵ月余というかつてない長期にわたる滲透作戦によって、各派とも三千五百票から四千票以上の後援会名簿を備えて、いずれもわが派が当選圏内に入ったとの自信を深めていますが、十三日の開票の結果の有効得票数は九千票弱とみられているので、この〃取らぬ狸の皮算用〃はお互いに二千票前後はダブっている勘定になります。

これは身近な町内の選挙ともなれば、顔見知りの向きから頼まれればイヤともいえず、おつき合いの名目だけの会員がいるためで、確実に票になるのかどうかあてにならない要素があるわけで、その派の役員として名をつらねていても義理や利害の関係で心ならずもメンバーに加わっている人もいるわけで〃選挙は水ものの〃であけ（開票）てみなければ－ということになります。

そのなかで、現職の水元孝夫氏の四選立起に対して二新人の挑戦はだれがみても現職に有利とみるのが常識で町議会の大半から町の公職者、有力者、建設業界のほとんどが名前をつらねているうえに中川一郎後援会に社会党、地区労が推薦という保革連合の陣容で、三巴戦で水元派が勝てなかったらおかしなものといえようし、水元氏自身が慎重で計算に強い人であり、三期十二年の行政実績で当然に名誉町民才一号は約束されているような地位にあるのに、四選に敗れてこの栄誉を先うようなたたかいに臨むわけはないとみられています。

井出利一郎氏にしても、全有権者の三分の二を占める大票田の中心市街地にあって、商工会長として町の振興、発展のための企業誘致の方策を具体的に打ち出して水元町政にみられなかった積極町政に期待がもたれており、池北三町のなかでもっとも保守勢力の強い町の保守本流の直系にあたる井出派にすれば、同じ支持地盤で争う水元派と矢野派とのとも喰いがはげしければ〃漁夫の利〃で優位に立つことが考えられます。

意外にも矢野派が善戦

この両強剛に対して、矢野幸雄氏の陣営は地位も権力もない一介のサラリーマンで、農業共済組合参事の職を投げうっての出馬で、後任の参事はすでに高坂義久氏が昇格して補充されているので、矢野氏は裸一貫の姿で町長選一本にかけているわけですが、それだけに前二派に比較すれば地味な支援体制で〃背水の陣〃を布いており、この三巴戦にどこまで喰い込めるかが注目されています。

はじめは農村、商工青年層のかつぎ出しで機先を制したものの、日が立つにつれて選挙上手の水元、井出両派の攻勢によってこの長丁場のなかで資金も乏しい矢野派の集票力は大したものではないとみられていましたが、現状では意外にも善戦ぶりをみせているようで、水元派の幹部でもそれを認めていて『相手は井出派ではなく矢野派とのたたかいだ』といっており、矢野派の方でも『相手は水元派だ』といっています。

つまるところは、現職優勢に番狂わせがあるとすれば矢野氏の登場になるのではないかと両派の観測が一致していることで、矢野派の陣営ではハッキリとすでに現段階では他派をリードしていると強気な読みをしていますが、その根拠のほどを探ってみますと

一、帯広畜大を出て共済組合に入って獣医師として参事になっても二十八年間にわたって、毎日一軒々々の農家をまわって歩いて面倒をみてきたことで、それも〃お役所〃的にでなく親味になっての相談相手として接してきたので、老若男女ともに親しまれ農政通でもあり農村地帯での得票は自他ともに優位と認められていること

二、問題の大票田の市街地区では矢野氏は弱いとみられていますが、三氏のなかでもっとも若い五十才の行動力と庶民性は、水元氏や井出氏には得られないものがあり、ザックバランに話し合える身近な町長候補として底辺の労働者の味方として末組織のはたらくものはもちろん地区労傘下組合のなかでは半ば公然と矢野氏支持にまわっていること

三、若くて健康な足寄の小林町長や陸別の杉田町長と違って、高令、病弱の水元氏をさらに四期までなぜ推さねばならないのか、ほかに立起者がいないのなら別として、水元町政にはアキアキしているという商店街や中小業着の声も出ており、市街地区は三派三等分の形勢にあること

四、矢野氏の場合は、水元氏が四選には出馬しないからとして後継者に指名された形で立起を決意して、共済組合の参事を辞職して裸一貫となってこの一戦にかけており、かりに水元氏が敗れたとしても町長三期在職で年金の受給資格があり、井出氏にしても建設業界にあって盛業中であるのに対して、矢野氏の陣営では必勝を期さなければとの悲壮感に立っており、矢野氏の退職金には手をつけさせないで支援同志が資金を出し合っての運動ぶりに、演説会場で聴衆から資金カンパが寄せられたり、後援会事務所に匿名で寄付金が郵送されてくるといった革新政党なみの支援が寄せられ、かくれた支持者がふえつつあること

などから、あるいは地すべり的な勝利を得る場合もあるのではないかと自信のほどを示しています。

これに対して水元派にしても井出派にしても、それぞれ支持基盤の再点検と引き締めに県命になって本番に入るものとみられますがなにしろ八年ぶりの町長選であり、有権者の動向も変つており、現職と新人との激突ぶりが注目されます。

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
久保呉服店
足寄町　T五－二一四八

ニュースを斬る

中道革新は保守

◆…自民党や社会党や共産党が後退したというか、公明党や民社党や新自由クラブが進出したというか、それやこれやの事情で保革伯仲の政局といわれていますが、実際には保守政党と革新政党との勢力が伯仲したのではなくて、自民党とそれ以外の政党との議席の差が接近したということです。

◆…というのは、反自民を旗印にかかげている中道革新と称する公明党や民社党などは、さきほどの釧路市長選や帯広市長選において、その旗印にもかかわらずハッキリとした自民党候補を支持して保守の側を喜ばせたように、中道は決して革新ではないという証拠をみせてくれました。

◆…国政の段階においてもそうで、重要法案になると現実的処理という名目でかんじんのところで自民党と妥協してしまうので、自民党側にすれば、与野党伯仲で議席数の足りないところは法案に修正の余地を残しておいて公明、民社、新自由クあたりとの話し合いでことをはこべば成立へもっていけるので、この中道勢力は願ってもない〃助っ人役〃を果してくれるわけです。

◆…将来ともに単独で政権にありつく見込みのないこうした群小政党としては連合政権によりすがるしかないのですが、こうして自民党政権の延命、補強勢力に甘んじていたのではその存在意義がなくなってしまうのではないでしょうか。

長岡一代交配野菜苗
販売しております
足寄農協購売部　T⑤二〇三七
武藤野菜店　T⑤二七一二

霊きゅう車　葬儀仏具一式　花輪　生花
(に)自動車　新津はなや
足寄町西三区　T　五－二六二六

新畳　表替　中古畳　フスマ張替
敷物一式
クロス施工
小林畳店　小林幸三郎
足寄町大通り山口整骨院前　T五－二四二八

カメラ　八ミリ　写真材料
上野カメラ堂　上野復興
足寄町駅通り　T　五－二五一二

観光と保養の
大自然のなかの人工美
－いで湯のふるさと－
♨芽登温泉
足寄町芽登　T　二八五五

家具と建材
信用は最大のサービス
技術と納期を誇る！
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を！
佐藤家具建材店
足寄駅前　T五－二三二一番

技術に生きる！
世界の ビクター
テレビ
ラジオ
レコード
ステレオ
－あらゆる電気器具－
有限会社
ミネ・デンキ
足寄町三笠通り　T5－2642

車検、焼付、塗装はローンでどうぞ
最新の設備と優秀な技術で早く確実なサービス
軽から大型まで　全車種指定車検場
車検・焼付塗装・ザーレンオイル
有限会社　ムトウ自動車工業
足寄町中島一区　T五－二五七八

夏物衣料を各産地から
沢山仕入れてきました
ただいま陳列を完了しまして
皆様の御用命をお待ちしております
是非御来店下さい
株式会社　前田呉服店
足寄町駅前商店街　T五－二〇二三

住宅産業に奉仕する店
新築改築のときはご相談下さい
家具　建材　サッシ　住宅設備機械
有限会社　桜井家具建具店
足寄町本通り南三丁目　T五－二三六二
アコーデオンカーテン　サッシ網戸
各種ご注文承ります
注文建具　注文サッシ　製作部
足寄町西五区　T五－三三一五

防震超軽量　造林用ミニチエンソー各種
同　造林用、酪農用刈払機各種
各種大量入荷
マキタ　日立　東和　電動工具長運斉益光刃物代理店
（機械の修理は誠実本位の当社へ）
林業機械
造林用具
電動工具
有限会社　鈴木鋸刃物店
本社　足寄町大通り　T　五－二三〇七
営業所本別町南二丁目T二－四九二三

ピアノ科、エレクトーン科、保母養成科、声学科
川岸音学院　院長　川岸新一
講師　斉藤九三子　井出真希子
陸別教室　若葉町　T　二三七九
足寄教室　込山デンキ内　T　⑤二一一二
本別教室　井出建設内　T　②二一一五
上士幌教室　家常商店内　T　②二〇六五
足寄自宅　北五区　T　⑤二八〇九